公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校女子サッカー選手権大会　第3節　【 15 】

主審署名	吉田陽一

日 時	2023 年 10 月 7 日 (土) 13 : 30 キックオフ			会 場	いぶきの森球技場				
天 候	曇り	弱風	天然芝 ・ (人工芝) クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 0 分 ／ PK戦 無		
運営責任者	吉田 陽一	会場主任	吉田 陽一	記 録	尾崎 行雄 ／ 岡本 夕季		観 衆	233 人	
主 審	吉田 陽一	副審1	小林 大樹	副審2	大野 良太	第4の審判員			

チーム名				チーム名 (kick off)
姫路女学院高校	2	1 前半 0 1 後半 0 延前 延後 PK戦	0	六甲アイランド高校
選手番号 ○× 先 (PK戦)				(PK戦) 選手番号 先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					垣本 茉奈香 2年	21	GK	GK	1	磯部 美晴 3年					分	
	分				2	林田 真心 2年	(4)	DF	MF	15	中村 陽菜 2年					57 分	
	分					中井 星良 2年	5	DF	DF	4	安達 紗耶夏 3年					分	
	64 分				1	朝山 瑞希 2年	20	DF	DF	3	木内 美里 3年					分	
	分			1*	1	桃柄 来夏 2年	7	MF	DF	(2)	合原 理央 2年					分	
	分					孝橋 日瑶里 3年	8	MF	MF	7	杉本 穂乃華 3年					分	
	HT 分				1	川又 柚月 3年	10	MF	MF	6	影本 真衣夢 2年					分	
	HT 分				1	大野 杏 2年	13	MF	MF	20	岡田 愛理 1年					分	
	57 分			1		辰巳 奈々羽 3年	22	MF	DF	18	村上 奏 1年					分	
	52 分					長谷 莉心 2年	27	MF	FW	19	金月 柚良 1年					分	
	分			2	2*	立野 心愛 3年	11	FW	FW	11	池内 菜々子 3年	1				HT 分	
	分					松下 葉音 2年	12	GK	DF	5	松本 彩音 2年					分	
20	分					藤本 織羽 3年	2	DF	MF	8	坂本 優菜 3年					分	15
13	分					木虎 小菜美 3年	3	DF	MF	9	川崎 ひなた 2年					分	
	分					髙橋 華 3年	23	DF	FW	10	筒井 望月 3年					分	11
27	分					井上 夢菜 3年	16	MF	GK	12	久保田 優空 1年					分	
	分					佐野 美優羽 3年	17	MF	DF	14	右手 菜月 2年					分	
22	分			1		森田 希夏 3年	18	MF	MF	16	米澤 心菜 2年					分	
	分					奥本 愛生 1年	9	FW	MF	23	南 凜 1年					分	
10	分					三輪 愛梨 3年	14	FW	MF	24	中山 愛唯 1年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					13			5	8	シュート	1	0			1	分				
分					2			1	1	G K	6	4			10	分				
分					6			1	5	C K	2	0			2	分				
分					0			0	0	直接FK	1	0			1	分				
分					0			0	0	間接FK	1	1			2	分				
分					0			0	0	P K	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
35 分	姫路女学院	11	立野心愛	1 － 0	左 7 ～ → 11 S
55 分	姫路女学院	7	桃柄来夏	2 － 0	11 → 7 S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 啓明 】　氏名 【 西畑拓人

姫路女学院は3-4-3、六甲アイは4-4-2の布陣で試合開始。試合開始から姫路女学院は相手ディフェンスラインの背後へシンプルにボールを入れゴールを目指す。一方、六甲アイは前線から積極的なプレスをかけ、ショートカウンターを仕掛ける。前半12分、⑧孝橋の左からのコーナーキックを⑳朝山がヘディングで合わすもバーに直撃し得点には至らず。その後、姫路女学院はサイドを大きく使った多彩な攻撃で何度もゴール前に侵入するも、六甲アイも集中した守備でゴールを割らせない。このままスコアレスで折り返すと思われた前半35分、姫路女学院は左サイドでボールを奪った⑦桃柄がドリブルで突破、中へのゴロのクロスを⑪立野が冷静に合わせて先制。姫路女学院1点リードで前半終了。後半開始から、姫路女学院は③木虎、⑭三輪、六甲アイは⑩筒井を投入し攻撃の活性化を図る。六甲アイは⑥影本を中心に攻撃を組み立て逆転の機会を伺う。姫路女学院は⑦桃柄が左サイドを何度も攻め上がり六甲アイゴールに迫る。一進一退の攻防が続いていたが、徐々に姫路女学院がゲームの主導権を握る。そして55分、中央で⑪立野からのボールを受けた⑦桃柄がペナルティーエリア手前から右足一閃。キーパーの頭上を突くシュートがゴールに突き刺さり追加点を奪う。その後、六甲アイは積極的にボールを前線へ入れ得点を狙いにいくが、姫路女学院の集中した守備を崩し切ることができず、2-0で試合が終了した。最後まで攻める姿勢を貫いた両チームの健闘を称える。

［備 考］